

栄駅周辺住民の 足を考える会ニュース

2021年5月号 第4号

発行日 2021年5月●日
発行元 栄駅周辺住民の足を考える会
事務局 桜が丘自治会館内
電話 078-994-2381
FAX 078-994-8350
URL <https://ashi.localinfo.jp/>

今後について

① 公共交通を考える ワーキンググループ

ワーキンググループで検討した結果を基にして、11系統が運行している桜が丘や新たな運行地域の秋葉台を対象に、地域での合意形成を図ります。その後、神姫ゾーンバスとの協議を進めます。

② 地域の新しい交通手段を 考えるワーキンググループ

ワーキンググループの結果から、神戸市の地域コミュニティ交通支援制度を導入する場合の条件整理が必要ですが、まずは現在運行されている路線バスの見直しを進めます。

③ 栄駅前の利便性向上を 考えるワーキンググループ

ハード面への対応は、押部谷町連合自治協議会をはじめとした周辺の他の自治会とも協力する必要があります。ソフト面への対応は、周辺地域とも連携する必要があることから、そこで実現可能な項目の検討を進めます。

令和3年度の活動について

地域内の公共交通の見直しを進めるため、①公共交通を考えるワーキンググループでの検討を基に、11系統の再編を神姫ゾーンバスと協議していきます。

令和2年度の活動報告

令和2年度の栄駅周辺住民の足を考える会(以下、足を考える会)では、令和元年度に実施したアンケート調査結果を基に、3つのワーキンググループを設置して、足を考える会の委員がそれぞれのワーキンググループに分かれて意見交換や議論を行いました。

今回の足を考える会ニュースでは、検討テーマや検討結果をご報告します。

足を考える会の令和2年度の主な活動状況

2020年 7月	令和2年度総会を開催 神姫バス・神姫ゾーンバスとの面談(第1回)
2020年 10月	神姫バス・神姫ゾーンバスとの面談(第2回)
2020年 12月	ワーキンググループでの意見交換等(第1回)
2021年 1月	ワーキンググループでの意見交換等(第2回)
2021年 2月	ワーキンググループでの意見交換等(第3回)
2021年 3月	ワーキンググループでの意見交換等(まとめ)

公共交通の見直しに向けた方向性(令和元年度アンケート結果より)

地域内の移動

買い物や通院をするための地域内での移動手段

神鉄栄駅への移動

三宮への移動手段(神鉄・直行バス)へのアクセス手段

西神中央駅周辺への移動

地域で様々な要望があるが、現在の路線バスを活用して改善

令和元年10～11月に実施したアンケート結果の報告

令和元年10～11月に実施したアンケート調査結果については、結果報告書を各地域福祉センターに置いてあります。どなたでもご覧いただけますので、ご興味のある方は窓口でお申し出ください。また、栄駅周辺住民の足を考える会のHP(<https://ashi.localinfo.jp/>)でも見る您可以通过。



▲栄駅周辺住民の足を考える会のHPです。
携帯電話・スマートフォンで読み取りください。

3つのワーキンググループ

① 公共交通を考える ワーキンググループ

目標

神姫バスと協力しながら、乗車を促す取り組みと地域住民に求められるバス路線、ダイヤの実現に向けて検討する。

主な検討内容

地域内を運行している20・20A系統や11系統、12系統の運行見直しについて協議を行いました。

② 地域の新しい交通手段を 考えるワーキンググループ

目標

自宅近辺からバス停や病院、商業施設までを往復できる、きめ細やかな移動手段の実現に向けて検討する。

主な検討内容

マイカーで移動できない高齢者の外出支援として、病院へ移動するための交通手段について協議を行いました。

③ 栄駅前の利便性向上を 考えるワーキンググループ

目標

駅近辺にバスや車送迎用の駐停車場を検討して、鉄道やバスの利用促進と駅前の賑わいの実現に向けて検討する。

主な検討内容

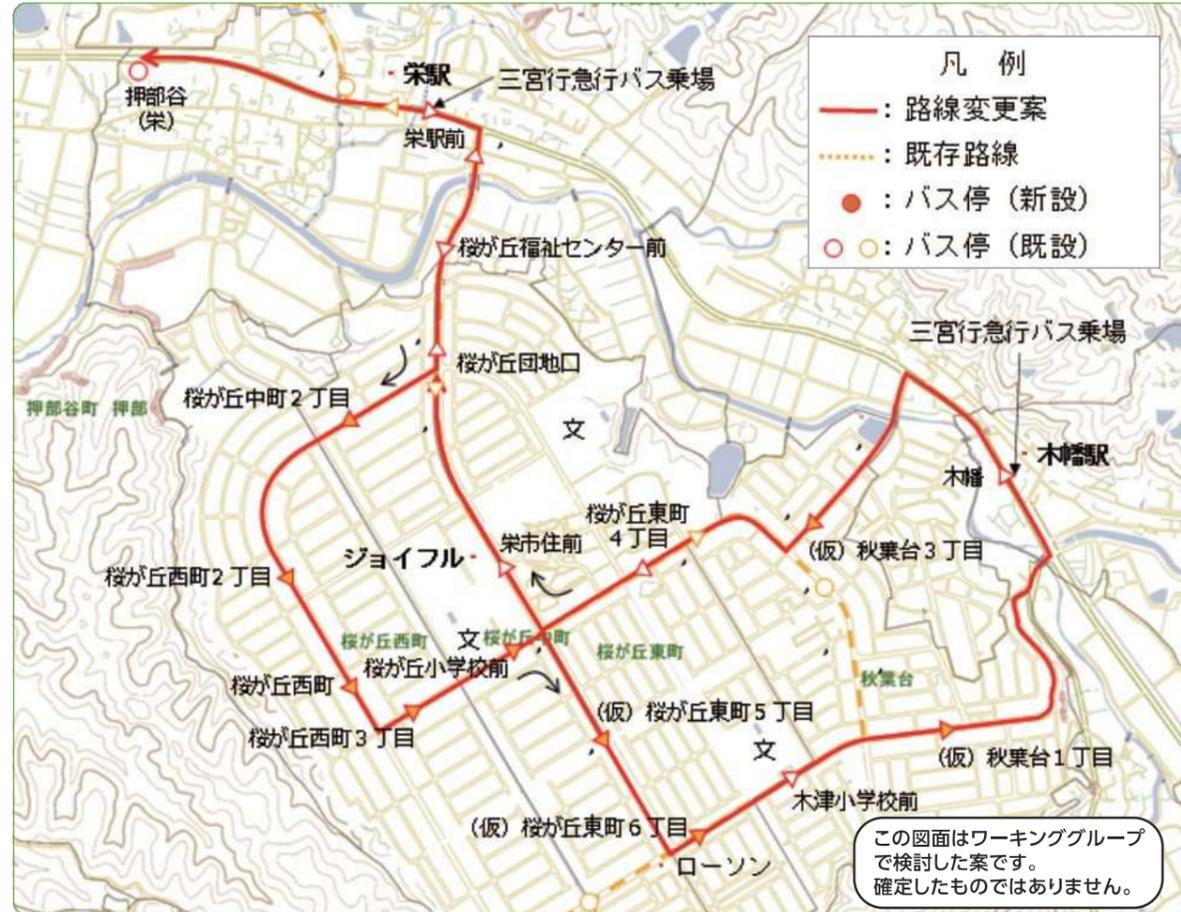
駅周辺の賑わい創出に向けて、ハード・ソフト面、政策面で必要な施策や栄駅周辺で集客を増やす方法を協議しました。

(R2活動内容)

① 公共交通を考えるワーキンググループでの検討結果

公共交通を考えるワーキンググループでは、現在の11系統(桜が丘循環)の利便性向上等を目指して、秋葉台等を経由する新たなルート案を検討しました。

■ 11系統(桜が丘循環)の新たなルート案



主な意見

- 病院やジョイフルを経由するルートにする
- 病院は、山崎眼科、中本内科、斎藤整形がある。
- 運行時間帯は昼間に集中させる。
- 4地区循環は理想だが、実現性を考えると、地域を分割する案でも良い。

出てきた意見をまとめると

運行方法案

- | | | | |
|--------|--------------|------|--------------|
| 主な運行区間 | 栄駅～木幡駅(地区循環) | 運行方向 | 秋葉台内は反時計回り |
| 延長 | 約7.7km | ダイヤ案 | 通院に便利な時間帯にする |
| 運行時間 | 約30分 | | → 午前中に4便 |
| 運行回数 | 8回 | | 夕方4便 |

<運行に際しての問題点>

- バス事業者である神姫ゾーンバスとの協議が必要。
- 新たなバス停留所を設置するには、地先の方の合意が必要。

② 地域の新しい交通手段を考えるワーキンググループでの検討結果

地域の新しい交通手段を考えるワーキンググループでは、地域内の病院を目的地とした予約型の移動手段について検討しました。

出てきた主な意見

- マイカーで移動できない高齢者外出支援を目的にする。
※買い物ニーズは、コープの買い物カートでカバーできるため、通院ニーズを主な対象とする。
- 移動手段は、玄関先から目的地まで移動できる、ドアtoドア型の乗り物が望ましい。
- 病院行きなので、午前中に運行する。
- 4地区循環は理想だが、利便性や目的地までの速達性を考えると、地区を分割したほうが良いのではないかと。

出てきた意見をまとめると

運行方法の案

- | | |
|------|--|
| 名称案 | (仮)乗りませんカー、
(仮)乗りましょーカー
[月号、桜号、美穂号、秋号] |
| 運行方式 | 予約型/地域内運行 |
| 運行日 | 平日(月～金曜日) |
| 運行時間 | 8:30到着便～12時台 |

問題点

- 既存の路線バスを最優先と考え、運行時間や運行エリアが競合しないように調整する必要がある。
- 競合しないための運行方法としては、路線バスの運行していない時間のみ運行、バス停のないエリアだけ運行するなど考えられる。

■ 運行地域の案



③ 栄駅前の利便性向上を考えるワーキンググループでの検討結果

栄駅前の利便性向上を考えるワーキンググループでは、駅前の利用促進や魅力向上に向けて、ハード整備(駅前ロータリー等)やソフト対策(乗り継ぎ等)について検討しました。

ハード面

- 送迎用スペースの整備
- バス停の改修・移設
- 生活利便施設の立地

ソフト面

- 敬老パスの神鉄利用
- 鉄道バスのダイヤ接続
- 駅での思い出づくり(愛着を持ってもらう)

集客増加

- 定住コーディネータと連携
- レンタサイクルポート
- 農業関連のイベント実施(水土里ネット等)